

塗装工学投稿規定

(2023年1月25日改訂)

1. 投稿原稿

- 1.1 投稿原稿の種別は、論文、ノート、総説、技術資料、解説、その他とする。
- 1.2 原稿は、本投稿規定および「塗装工学執筆要項」に準じて記述し、所定の原稿表紙を添付する。
種別には、1.1の分類による掲載希望種別を記入する。
- 1.3 投稿された原稿が本会に到着した日を受付日とする。投稿原稿の受理日は、編集委員会が掲載可と決定した日とする。
- 1.4 投稿原稿は、原則として返却しない。
- 1.5 原稿は、塗装技術一般に関するものとする。
原稿の採否は、編集委員会が決定する。ただし、営利上の宣伝に関するものは受理しない。

2. 投稿資格

論文およびノートの投稿資格は、原則として本協会の正会員（法人およびグループの所属員を含む）、学生会員および名誉会員とする。
なお、会員以外の連名著者を含むことはさしつかえない。

3. 著作権

本誌に掲載された記事等（電子媒体記録物を含む）の著作権は、本会に属する。

4. 投稿原稿の種別

4.1 論文

論文は、印刷物として未発表であり、塗装技術に関する内容のもので、編集委員会が指名した複数の査読者により、新規で価値のある結論もしくは事実を含んでいると認められた場合に掲載する。

4.2 ノート

断片的な研究であっても、編集委員会が指名した複数の査読者により、新しい事実や価値のあるデータ、実験装置の考案、あるいは技術的に価値のある提案、考察、意見を含ん

でいると認められたものについては、ノートとして掲載する。

4.3 総説

公表された論文などの引用に基づいて総合的に幅広く記述されており、科学的根拠があると編集委員会が認めた場合に掲載する。

4.4 技術資料

種々のデータ、結論、事実などについて記述されており、技術資料としてふさわしいと編集委員会が認めた場合に掲載する。

4.5 解説

特定の主題について、公表された論文、印刷物を引用して、その内容が広範な読者に理解できるように記述したもので、編集委員会が解説としてふさわしいと判断した場合に掲載する。主題は、原則として技術的な事項以外とする。

4.6 その他の掲載記事に関する規定

塗装技術および本協会活動に関する内容で、本協会関係行事活動状況報告、海外の学会、研修会、視察などの参加記事、および随筆の記事等、会員に対して有用な内容であると編集委員会が認めた場合に掲載する。

5. 原稿の審査・再提出

5.1 編集委員会は、投稿原稿について審査した結果、訂正を求めることがある。

5.2 訂正を求められた原稿は、なるべく早く再提出する。返送の日から2ヶ月以内に再提出しない場合には、投稿の意志がないものとして処理することがある。

6. 掲載種別の変更

編集委員会の判断により、掲載種別を変更することがある。

7. 著者校正

著者校正は、1回行う。この際、印刷上の誤り以外の字句の修正・加除は原則として認めない。校正は校正原稿受け取り後5日以

内に返送することとする。期限に遅れた場合には、事務局の校正をもって校了とすることがある。

8. 会誌発行後の訂正

8.1 印刷上の誤りについては、著者の申し出があった場合に訂正する。

8.2 印刷上の誤り以外の訂正、加除などは、原則として行わない。ただし、著者の申し出により、編集委員会が適当と認めた場合に限り掲載する。

9. 別刷り

別刷りを希望する場合は、著者校正時に申し込むこと。ただし、実費を申し受ける。PDFファイルについても、希望があれば有償で提供する。

10. カラー図表の当協会ホームページへの掲載

読者の理解を助けるため、本文内の図表（写真を含む）をカラー図表として当協会ホームページへ掲載することが望ましいと編集委員会が判断した場合、著者に対してカラー図表の提出を求めることがある。ホームページへの掲載費用は、当協会で負担する。

塗装工学執筆要項

(2023年 1月25日改訂)

1. 原稿の種類

原稿の種類ごとの構成については、「原稿種別による一覧表」を参照し、執筆する。

1.1 論文

本文は、刷り上がりページ数は特に定めない。英文で投稿することもできる。

1.1.1 和文要旨・英文要旨

報告内容の概要を400字以内で示した和文要旨、ならびに200語以内で示した英文要旨をそれぞれ添付する。

1.1.2 本文

本文は、緒言、理論、実験、結果、考察、結論の項目にまとめて書くことが望ましい。

1.1.3 キーワード

和文・英文要旨に続けて、キーワード（日本語および英語それぞれ5項目以内）を指定する。

1.2 ノート

本文は、原則として刷り上がり6ページ以内（図表を含む）とする。英文で投稿することもできる。

1.2.1 和文要旨・英文要旨

報告内容の概要を200字以内で示した和文要旨、ならびに100語以内で示した英文要旨をそれぞれ添付する。

1.2.2 本文

本文は、緒言、理論、実験、結果、考察、結論の項目にまとめて書くことが望ましい。ただし、このうち、必要のないものは省略してもよい。

1.2.3 キーワード

和文・英文要旨に続けて、キーワード（日本語および英語それぞれ5項目以内）を指定する。

1.3 総説

本文は、原則として刷り上がり12ページ以内（図表を含む）とする。

1.3.1 英文要旨

200語以内でその報告内容の概要を示した英文要旨を添付することが望ましい。

1.3.2 本文

本文は、特に形式は問わないが、簡潔に書くことが望ましい。

1.3.3 キーワード

英文要旨に続けて、キーワード（日本語および英語それぞれ5項目以内）を指定する。

1.4 技術資料

本文は、原則として刷り上がり8ページ以内（図表を含む）とする。

1.4.1 英文要旨

200語以内でその報告内容の概要を示した英文要旨を添付することが望ましい。

1.4.2 本文

本文は、特に形式は問わないが、簡潔に書くことが望ましい。

1.4.3 キーワード

英文要旨に続けて、キーワード（日本語および英語それぞれ5項目以内）を指定する。

1.5 解説

本文は、原則として刷り上がり8ページ以内（図表を含む）とする。本文は、特に形式は問わないが、簡潔に書くことが望ましい。

1.6 その他の掲載記事

本文は、原則として刷り上がり2ページ以内（図表を含む）とする。本文は、特に形式は問わないが、簡潔に書くことが望ましい。

2. 原稿の書式

2.1 原稿の体裁

①原稿は、当協会が用意したテンプレートを使用し、文書ファイルとして作成する。

②上記とは別に、図表（写真を含む）のみの電子ファイルを作成して、文書ファイルとともに提出する。なお、図表を文書ファイル中に貼り付けてもよいが、その場合でも、図表の

みの電子ファイルを別途提出する。

- ③カラー図表を当協会ホームページへ掲載する場合は、印刷用の図表とは別に、カラー図表の画像データを提出する。

2.2 表紙・本文

- ①原稿にページを記入する。
- ②原稿の表紙には、題名、英文題名、執筆者氏名、ローマ字氏名、勤務先、所在地、電話、FAX、E-mail、連絡者氏名、連絡先を書く。
- ③ローマ字氏名は、ヘボン式とし、姓、名の順に表記する（姓はすべて大文字、名は最初の1文字のみ大文字）。
- ④章、節、項は3.3.1のようにポイントシステムで表す。
- ⑤新しい段落の初めは、一字分あける。
- ⑥漢字は、常用漢字を使用し、かなはひらがなを用いる。ただし、カタカナ書きが一般的な語句は、カタカナ書きとする。
- ⑦使用する述語は、原則として、文部科学省編「学術用語集」、JIS等に従う。特殊な用語は、できるだけ文中または文末等で解説して用いる。
- ⑧単位、記号の表記は、原則としてJIS Z 8202に準拠する。
- ⑨商品名の記載は、初出時のみとし、それ以降は適切な語句に置き換えて表現する。

2.3 図表

- ①図表は、原則として1枚の用紙には1つだけ書く。
- ②グラフは、フレーム形式（座標軸で四方を囲む形式）を標準とする。
- ③図表の説明は、できるだけ図表だけでも内容がわかるように書く。図のタイトルは、図の下側に、表のタイトルは表の上側に書く。写真および本文中に記載できない式は、図に分

類する。

- ④コンピュータ等による作図でトレース不要の場合、図および図中の文字の大きさは、塗装工学の最近号を参考に、仕上がり寸法の2倍程度の大きさに作図する。
- ⑤図表の挿入位置は、文書ファイル中に指示する。

2.4 引用文献

- ①文献の引用は、引用箇所の肩に1)、2)などのように付け、文献を本文末にまとめて書く。
- ②文献は、雑誌の場合、著者名：雑誌名、巻[号]、ページ（発行年）の順に書く。
単行本の場合、著者名：書籍名、ページ、出版社名（発行年）の順に書く。日本人の著者名は姓名（フルネーム）を書く。巻数はゴシック（又は波線のアンダーライン）、欧文学誌名はイタリック（又はアンダーライン）で書く。ウェブサイトを参照した場合は、ウェブページの題目、ウェブサイトの名称、ウェブページのアドレス、参照日を書く。

例) 引用文献

- 1) 藤井泰弘：塗装工学, **20** [7], 306 (1985)
- 2) B. Marold, W. Funke : *Prog. Org. Coatings*, **23**, 287 (1994)
- 3) 中道敏彦：塗料の流動と塗膜形成, p.54, 技報堂出版 (1995)
- 4) 特開 2002148197
- 5) 柴原孝子, 岩田顕範, 原田昭夫：第23回塗料・塗装研究発表会 講演予稿集, p.59 (2008)
- 6) “「塗装工学」タイトルサービス” 日本塗装技術協会 <http://jcot.or.jp/tosokogaku.html> (参照 2022-05-26).

(図の例)

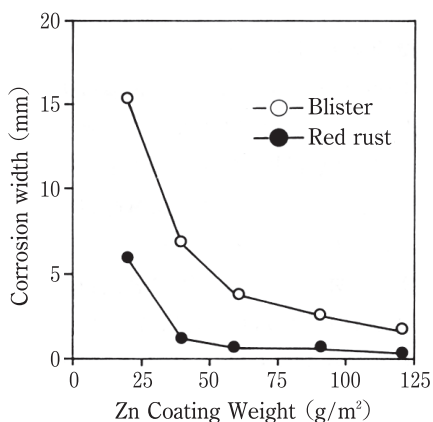


Figure 7 Effect of Zn coating weight on cut edge corrosion widths

(表の例)

Table 2 Kinds of paints

paint	Type of resins	Content of Cr pigment (%)
Primer	polyester	0, 3, 11, 18, 25
Top	polyester	0
Backer	polyester	3

原稿種別による一覧表

		論文	ノート	総説	技術資料	解説	その他	巻頭言
刷上り最大ページ数		制限なし	6	12	8	8	2	1
タイトル	日本語	○						
	英語	○						
要旨	日本語	400字以内	200字以内	—				
	英語	200語以内	100語以内	200語以内 (添付が望ましい)	200語以内 (添付が望ましい)	—		
キーワード	日本語	5項目以内				—		
	英語	5項目以内				—		
図・表の番号 (記載例)	英語 (Figure 1 Table 2 など)	日本語 (図1 表2 など)					—	
図・表の題名と説明文	英語	日本語					—	
引用文献	原典のままの言語							—
審査	査読	閲読						

別刷申込について

別刷ご希望の方は下記の申し込み用紙にご記入のうえお申し込み下さい。
PDFファイルご希望の場合は、CDにてお送りします。

〒164-0014 東京都中野区南台3-44-7-101
株式会社 リョーワ印刷内
日本塗装技術協会「塗装工学」編集係
TEL.03-6382-4667 FAX. 03-6382-4668
E-mail : journal@jcot.or.jp

[別 刷 申 込 書]

日本塗技術協会 御中

「塗装工学」執筆者名：

原稿題目：

別刷 部 ・ CD 枚 を注文いたします。

支払い方法： 社費 公費 私費

見積書 通 納品書 通 請求書 通

送り先：〒

氏 名：

塗装工学別刷料金表

50部：22,000円	300部：66,000円
100部：38,500円	400部：74,800円
200部：52,800円	500部：82,500円
CD 1枚：5,500円	

(送料・事務手数料別途)

ページ数に関わらず部数での価格とする。最低申込部数を50部とする。
別途、事務手数料5,000円と送料（実費）を申し受ける。